

報告書抄録

ふりがな	ごうさくらいほりいせき-だい5・6・7じちようさー やたおおでぐちいせき-だい3じちようさー にやこにやいせき たくままちだいせき まつぎひろたいせき-だい4じちようさー
書名	郷桜井堀遺跡-第5・6・7次調査- 矢田大出口遺跡-第3次調査- 新谷古新谷遺跡 宅間町田遺跡 松木広田遺跡-第4次調査-
副書名	-平成20年度 個人住宅建設に伴う発掘調査報告書-
巻次	
シリーズ名	今治市埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第100集
編集者名	白石聡 櫛部大作 丸毛のぞみ
編集機関	今治市教育委員会
所在地	〒794-0028 愛媛県今治市北宝来町1-1-16 電話 0898-36-1608
発行年月日	西暦2010年3月

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
ごうさくらいほりいせき 郷桜井堀遺跡 第5次調査	いまばりしごうさくらい 今治市郷桜井1丁目 甲207-4	38202		34° 01' 05"	133° 02' 00"	20080411	4m ²	個人住宅建設 (浄化槽)
ごうさくらいほりいせき 郷桜井堀遺跡 第6次調査	いまばりしごうさくらい 今治市郷桜井1丁目 甲207-12	38202		34° 01' 05"	133° 02' 00"	20081125 ? 20081126	3.4m ²	個人住宅建設 (浄化槽)
ごうさくらいほりいせき 郷桜井堀遺跡 第7次調査	いまばりしごうさくらい 今治市郷桜井1丁目 甲207-15	38202		34° 01' 04"	133° 02' 01"	20090309	3.8m ²	個人住宅建設 (浄化槽)
やたおおでぐちいせき 矢田大出口遺跡 第3次調査	いまばりしやたおおでぐち 今治市矢田大出口 甲66-1	38202		34° 03' 25"	132° 58' 16"	20080515 ? 20080521	64m ²	個人住宅建設 (擁壁)
にやこにやいせき 新谷古新谷遺跡	いまばりしにや 今治市新谷 甲1752-1	38202		34° 01' 27"	132° 59' 07"	20081020 ? 20081031	10m ²	個人住宅建設 (擁壁・浄化槽)
たくままちだいせき 宅間町田遺跡	いまばりしたくま 今治市宅間 甲853-1	38202		34° 04' 20"	132° 56' 46"	20090309 ? 20090311	28m ²	個人住宅建設 (擁壁)
まつぎひろたいせき 松木広田遺跡 第4次調査	いまばりしまつぎ 今治市松木 243-6	38202		34° 02' 04"	133° 00' 24"	20090310	3.45m ²	個人住宅建設 (浄化槽)

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
郷桜井堀遺跡	集落跡	中世	ピット、土坑、溝状遺構	須恵器・土師質土器・瓦質土器・陶器・瓦	
矢田大出口遺跡	集落跡	弥生 古墳 中世	なし	弥生土器 須恵器・瓦器	
新谷古新谷遺跡	集落跡	弥生 古墳	柱穴	弥生土器・須恵器	
宅間町田遺跡	集落跡	弥生 古墳初頭	柱穴 土坑	弥生土器 古式土師器	
松木広田遺跡	集落跡	弥生時代後期後半 ～古墳時代初頭	ピット	弥生土器、古式土師器、石器	

要約	<p>郷桜井堀遺跡は、浄化槽設置部分の限定的な調査範囲であったが、主に中世の遺構、遺物を検出した。第5・6次調査では多数の遺構の切り合いがみられたことから集落が継続的に存在したと考えられる。</p> <p>矢田大出口遺跡は、当初中世を中心とする遺跡と考えられたが、包含層を中心とする弥生時代の遺跡が周辺に広がっていることが想定される。</p> <p>新谷古新谷遺跡の調査域内は、基本的に弥生時代の遺構を破壊した上で、古墳時代後期頃の遺構が形成されている。遺構・遺物密度はかなり高く、周辺に同様の遺跡の広がりが考えられる。</p> <p>宅間町田遺跡は、丘陵裾部に隣接し、弥生時代終末から古墳時代初頭を中心とする遺構が確認され、中世の包含層がそれに続く。白磁などの陶磁器も見られることから、特に丘陵部にかけて遺跡の広がりが考えられた。</p> <p>松木広田遺跡は、弥生時代後期後半から古墳時代初頭を中心とする今治平野の拠点的な集落である。今回の4次調査区は集落の中心部から遠く、遺構遺物が希薄になりつつある集落域の北東端であると考えられた。</p>
----	--